

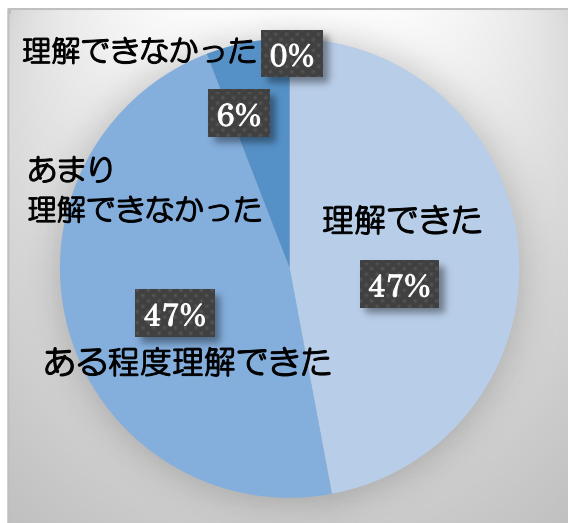
アンケート結果（抜粋）



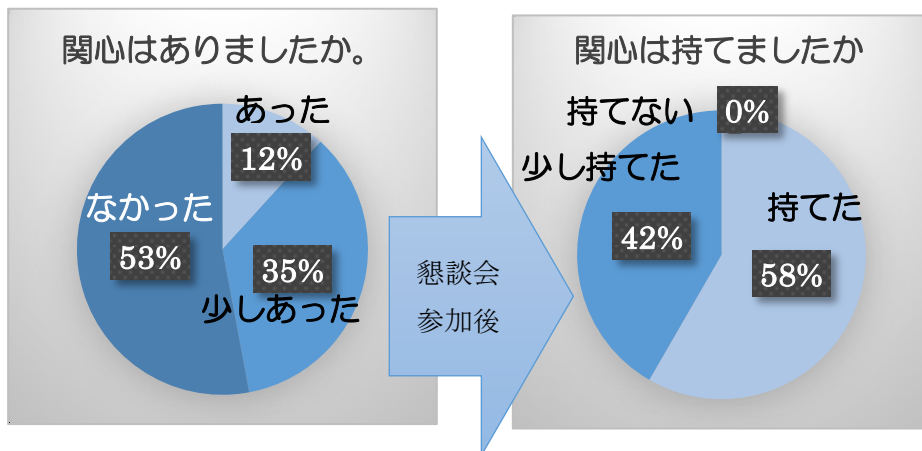
参加者：34人

（傍聴含む）

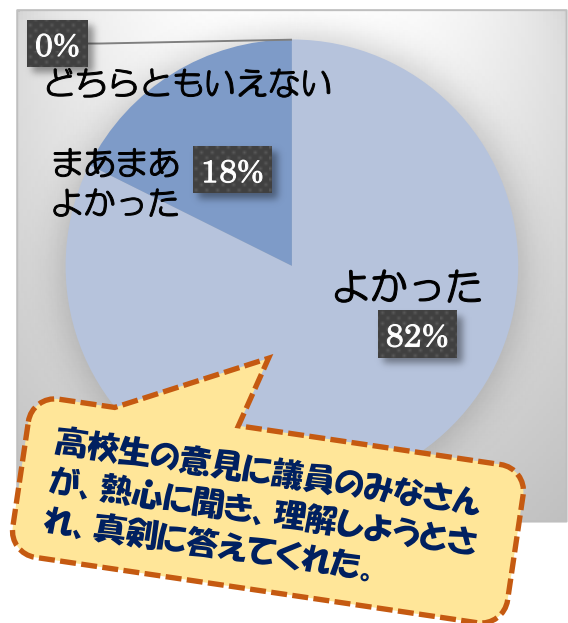
【市議会の役割や活動の理解】



【市議会への関心】



【今回の懇談会の感想】



【市議会に関心が持てたことは？】

- 昨年の高校生の意見が反映されており、興味を持てた。
- 高校生が出した提言に熱心に答えてくれたこと。
- 議会の進め方や対策の話し合い方が知れたこと。
- 市をよりよくするため働かれているところ。
- 高校生が意見を言える場を設けられていること。
- 市内3校が集まり、他校の意見や議員の考えを聴ける場が設定されていること。

【市議会や議員に期待することは？】

- 意見を聞き、行動に移し、実現させることを期待。
- 提言がどのように反映されるのか。
- 若い人から高齢者まで住みやすい活動的なまちづくり。
- 市民や地域の人たちとの交流。
- 今回のような懇談会を積極的に実施して欲しい。

【くだまつっていいなあ ~と思うことは？】

- 地域の人があいさつをしてくれる。
- やさしい人が多い。あったかい。
- 地域の方が明るい。
- 横断歩道で車が止まってくれる。
- 道路が整備されている。
- 商業施設が多くある。
- 映画館がある。 ○ 花が多い。

【いたらいいなと思う議員はどんな人？】

- 若い人のことが理解できる人。 ○ 若い議員。
- ICT など情報技術に強い人。 ○ 発想が豊かな人。
- どの年代のことも考えてくれる人。 ○ 市民に近い人
- やる気があって行動力がある人。 ○ 幅広い年齢層。
- 市や地域のことをしっかり考えて行動する人。
- 下松市のことを思ってくれている人。
- 若者にもお年寄りにも住みやすいまちを目指してくれる。

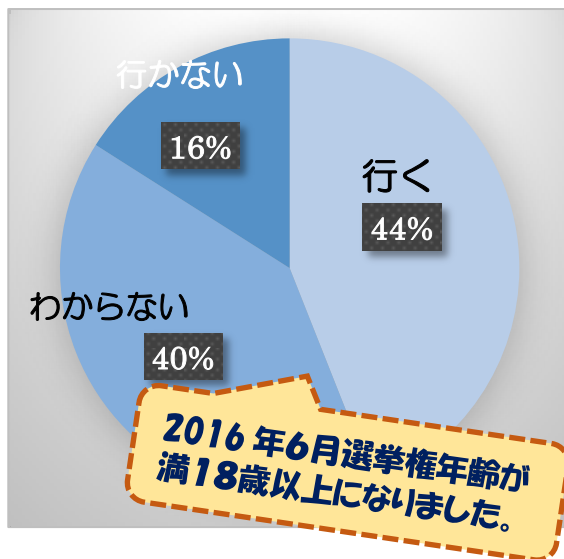
参加してくれた高校生のみなさん、傍聴された方々ありがとうございました。

事前アンケート結果（抜粋）



高校生：25人

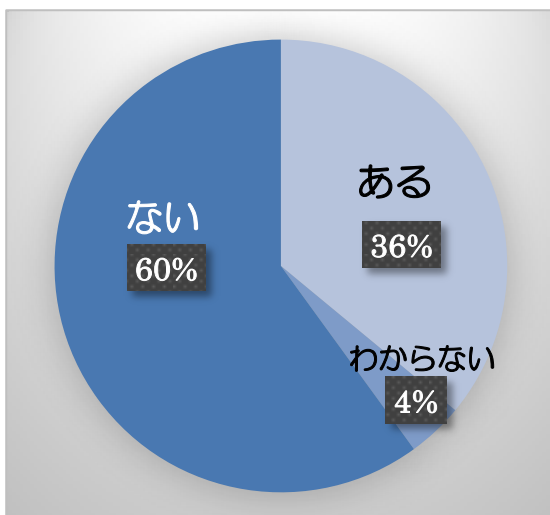
【選挙権があれば選挙に行く？】



【その理由は？】

- 人任せではなく、自分の意見を議会へ送りたいと思う。
- 何もせずに嫌な社会になるのは嫌。権利を最大限に使いたい。
- 今まで自分になかった権利。活用して政治に参加したい。
- 将来の政治は若い人が担う。若いうちから興味を持つべき。
- 自分の意思表示ができる機会だと思う。
- 自分の一票では影響が少ないと思うから。
- 選挙について知識がないため不安。
- 政治が今後の自分にどう影響するのか理解できていない。
- わからない。 興味がない。 面倒くさい。

【友達家族で政治や選挙の話をしたことは？】



【若い人が投票に行かないのは何故？】

- 自分の投票では何も変わらないと思っているから。
- 自分たちには関係のないことだと思っているから。
- 今の政治は若者の対するマニフェストがないから。
- 判断する知識がなく、調べることもないので投票が出来ない。
- 政治で何が行われているのか、具体的なイメージが出来ず、分からないというのが大きいと思う。

【どんな話？】

- 誰に投票するか。
- 憲法第9条について。
- 若者の選挙離れについて、自分たちは何をすべきか友達と意見を交わした。
- 初めて選挙、方法を父に教えてもらった。
- 選挙権が18歳以上に与えられることについて、責任や機体など。

【投票に行かない若い人が増えるとどうなる？】

- 若い人の意見が反映されず、高齢者の意見中心の社会になる。
- 若者向けのマニフェストを立てる人がいなくなる。
- 投票率が下がり、投票の意味がなくなる。
- 一部の意見、偏った考えのみが政治に反映されてしまう。
- 政治運営がうまくいかなくなる。 日本が壊れる。

【若い人の投票率を上げるためには？】

- 選挙に何か特典を付ける。（ふさわしくないかもしれないが興味を持つ第一歩になる。） 若い政治家を増やす。
- 政治を正しく、楽しく学ぶ。 友達や家族で誘い合う。
- 投票したことでの変化が見えるようにするべき。
- 若い人にも政治の必要性がわかりやすいように伝えること。
- SNS で政治の制度や政策を分かりやすく発信すること。
- 若者向けのCM。 ネット投票（スマートフォンやパソコン）。
- 投票するのが難しいというイメージの払拭。
- 会社や各種施設で行えるようにする。

《昨年4月下松市議会議員選挙：投票率》

全年代：42.19%

18歳：17.99% (86人/478人)

19歳：16.70% (77人/461人)

参加してくれた高校生のみなさん。ありがとうございました。